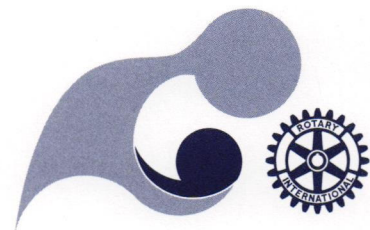


2008-09

国際ロータリー第2660地区

地区委員会 活動計画書



Make Dreams Real



合同地区委員会

ガバナー 横山 守雄

2008. 7. 19 (土)
大阪YMCA会館

CONTENTS

目次

合同地区委員会開催にあたって	1
地区ガバナー指名委員会	2
意義ある業績賞委員会	3
地区研修委員会	4
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕・拡大増強委員会	5
広報委員会	6
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会	7
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会	8
青少年奉仕部門	
新世代合同委員長会議・危機管理委員会	9
青少年活動委員会	10
ローターアクト委員会	12
インターアクト委員会	13
青少年交換委員会	14
国際奉仕部門	
国際奉仕・WCS委員会	16
ロータリー財団部門	
ロータリー財団委員会	17
財団情報・増進委員会	18
財団奨学金・学友委員会	19
研究グループ交換委員会	21
財団人道的補助金委員会	23
米山奨学部門	
米山奨学委員会	25
地区大会実行委員会	26
ロータリーの友	28
地区財務委員会	29
予算書	30
地区組織図	31

合同地区委員会開催にあたって

ガバナー 横山 守雄

合同地区委員会は新年度最初に開催される地区会合です。地区リーダーの皆様が一同に会し、新年度のRIや地区方針に基づき、それぞれの所属部門の活動計画を発表し、地区全体の活動目標を確認し合う場でもあります。

RI会長のD.K.Leeさんは本年度の活動テーマを「Make Dreams Real」、「夢をかたちに」と宣言されました。そして特に社会の大切な資源である「子供たちに光があたる」奉仕活動に取り組んでくださいと強調されました。

地区方針として、私はロータリー活動の原点であります「職業倫理の向上」、「各クラブの活性化プラン、CLPの推進」、そして「地区活動のスリム化」に取り組ましようと呼びかけました。

本年度のRIや地区の活動方針の詳細につきましては、地区チーム研修セミナー、PETS、地区協議会などの、次年度のための研修セミナーを通じて説明して参りました。地区各委員会におかれましては、それらの強調事項を出来るだけ活動計画やプログラムに取り入れて活動されることを願っております。

地区と各クラブとの窓口になって頂くのはガバナー補佐8名の方です。地区委員会の諸計画や活動がクラブへ伝達され、そしてまたフィードバックされてくる主な窓口はガバナー補佐の皆さんです。地区委員会の皆様方とガバナー補佐との緊密な連携プレイは地区組織が効果的に機能する前提になります。両者の関係はともすれば薄くなりがちですが、地区組織と活動全体を効果的に盛り上げて行くために、改めてその重要性を認識して頂きたいと存じます。

本日お集まりの一人、一人が2008-09年度地区チームの一員として、それぞれ大変重要な役割を担っておられます。地区リーダーの皆様方が日頃から抱いておられますロータリー活動に対する夢が、本年度の活動を通じて一つでも二つでもかたちになりますよう、地区委員皆様方のご尽力とご活躍をお祈り申し上げます。

地区ガバナー指名委員会

委員長	新谷 秀一 (池田くれはRC)
委員	若林 紀男 (大阪東RC)
委員	宮田 宏章 (大阪北RC)
委員	神崎 茂 (大阪西RC)
委員	岩田 宙造 (大阪南RC)

RI細則13. 010項に従い、2011～2012年度ガバナー・ノミネーをガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上30ヶ月以内に選出すべく努めます。

意義ある業績賞委員会

委員長 新谷 秀一（池田くれはRC）

委員 神崎 茂（大阪西RC）

委員 岩田 宙造（大阪南RC）

RI意義ある業績賞の目的は、地域社会の問題やニーズに取り組んだクラブ活動をするこ
によって、新しいプロジェクトの実施をすべてのクラブに奨励し、模範的なクラブ活動の重要
性に対する意識を高めることとされています。

【選考の基準】

本賞の受賞資格を有するのは、1つのクラブにより遂行された1件のクラブ・プロジェクト
のみです。また、1地区につき1クラブのみです。既に意義ある業績賞を受賞したことのある
プロジェクトは、資格がありません。

意義ある業績賞に推薦するプロジェクトは、次の選定基準を満たしていなければなりません。

- ・ 地元地域社会の深刻な問題やニーズに取り組むものである。（いかに意義のあるもの
であっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格はありません）
- ・ 単なる金銭的奉仕でなく、クラブ会員の大半または全員が直接参加しているもので
ある。
- ・ クラブの規模、及び利用可能な資源に釣り合ったものである。
- ・ 地域社会におけるロータリーのイメージを向上させるものである。
- ・ 他のロータリーの模範となりうるものである。
- ・ 現在実施中、もしくは本賞が授与されるロータリー年度中に完了するものである。
（ただし、現ロータリー年度に開始されたものである必要はありません）

地区研修委員会

リーダー	戸田 孝 (八尾RC)
サブリーダー	井上 暎夫 (千里RC)
サブリーダー	若林 紀男 (大阪東RC)
サブリーダー	神崎 茂 (大阪西RC)
委員	川上 善司 (大阪平野RC)
委員	橋本 憲之 (大阪南RC)
委員	畑田 豊 (大阪城南RC)
委員	瀧川 紀征 (吹田西RC)
委員	松井 隆雄 (大阪天王寺RC)
委員	井上 家昌 (東大阪東RC)
委員	岩本 洋子 (大阪そねぎRC)

○活動方針

地区ガバナーと協力し、地区内における以下の研修ニーズに対応する。

- a) 地区指導者育成セミナー
- b) クラブレベルの指導者育成研修
- c) 適宜、地区内におけるその他の研修会

○活動計画

ガバナーエレクトと協力し、以下の研修ニーズに対応する。

- a) P E T S
- b) 地区協議会
- c) 地区チーム研修セミナー (ガバナー補佐の研修を含む)

クラブ奉仕部門

クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長	松川 雅典 (新大阪RC)
副委員長	南賀 勝之 (大阪城南RC)
副委員長	山本 昌宏 (東大阪みどりRC)
委員	川上 善司 (大阪平野RC)
委員	常國 克輔 (大阪城北RC)
委員	北田 耕一 (大阪東南RC)
委員	安田千恵子 (大阪柏原RC)
委員	川島 吉博 (くずはRC)
委員	小寺 潤一 (豊中RC)
委員	安養寺敏彦 (交野RC)

○活動方針

本年度は李東建RI会長の方針に従い、各クラブ10%の増強を達成するべく取り組みます。そのためには会員数の減少についての従来の諦めムードを断ち切り、また減少原因ばかりを議論し評論家的態度に終始してきたのを改め、増強に向けて行動する各クラブへ変身させるような活動をします。

またCLPの更なる浸透を図ることにより各クラブの活性化を図ります。

○活動計画

各クラブの増強に対する意識改革を促すために、本年度に入る前の2008年5月31日(土)に大阪厚生年金会館にて「会員はこうやって増やせ」ーうちのクラブの会員は減少しているのにあのクラブはなぜあんなに増えているのだろうーとのテーマで、会員増強に成功した4クラブからパネラーを出していただきその具体的な増強の方法を開示していただきました。その結果増強に効果的な方法を見出し、それを地区の推奨方法として8月の会員増強月間前に各クラブに伝達し具体的増強活動を開始していただきます。そして地区としてそのフォローも行います。

また入会后3年未満の会員の退会率が高いことから、地区大会において研修委員会と合同で入会3年未満の会員を対象にして意識覚醒のためのセミナーを開催します。

CLPに関しては、どのクラブも一応は検討に入りましたが進んでいるクラブとそうでないクラブがあるようです。そこでCLPセミナーを開催し、CLP活動の最先端を走るクラブからパネラーを出していただきパネルディスカッションを行い各クラブのCLPへの取り組みをより促進させます。

広報委員会

委員長	木村 芳樹 (大阪南RC)
副委員長	岡島 正幸 (大阪RC)
副委員長	川上 征 (大阪東RC)
委員	山田 崇雄 (大阪北梅田RC)
委員	中島 武 (大阪堂島RC)

活動計画

「ロータリーを知り、ロータリーを知ってもらおう。」近年、ロータリーにおける広報がより重要視されるようになってきています。手続要覧では、『個々のロータリアンはその責務として、ロータリーの綱領、プログラム、活動を十分に理解し、また自身のクラブを知ることにより、交友および職業上の知己を通じてロータリーの意図と業績を推進する機会を求めるものと期待されている。』と記載されています。

そしてクラブとしては、ロータリーの意図と業績を家族、友人、知人に知らせるようロータリアンに勧め、またクラブとして成功を取めた奉仕プロジェクトや活動でロータリーの意図と業績を明らかに示すものを地域に広報し、ロータリーの知名度をより上げることが肝要です。

今年度地区広報委員会としては、ロータリーの知名度をより上げるために、クラブ広報委員長の率先のもと個々のロータリークラブの広報活動がより活発になるようサポートしていきたいと思えます。

- 各クラブにおける広報活動の実績の情報収集と蓄積、運用を図ります。
- クラブ広報委員長会議を開催し、個々のクラブ、ロータリアンにおける広報の重要性を認識していただき、各クラブにおける広報活動の推進を奨励します。
- 各クラブ、地区の奉仕活動を地区に集約、蓄積し、地区ホームページやパンフレット、マスコミ等を通じ各クラブの活動を地区として広報します。

以上を通じ、各クラブ、ロータリアン単位の広報を主体に一年を通じて地区全体の広報活動を推進していきます。各クラブのご協力よろしくお願ひします。

職業奉仕部門

職業奉仕委員会

委員長	畑田 耕一 (豊中RC)
副委員長	鈴木 洋 (八尾東RC)
委員	中嶋 進治 (大阪城東RC)
委員	上田 耕司 (大阪大手前RC)
委員	岩本 洋子 (大阪そねざきRC)
委員	松尾 浩 (高槻RC)
委員	長崎 弘芳 (大東中央RC)
委員	若林 尚史 (くずはRC)
委員	岸本 隆之 (豊中千里RC)

○活動方針

あらゆる機会をとらえて、各クラブの会員に職業奉仕の精神について自分で考えることの必要性を強調するとともに、その実践の一つとしての小・中・高等学校への出前授業を推進する。

○活動計画

1. 職業奉仕委員長会議 (2008年8月30日、午後、ホテルヴィアール大阪)

大阪大学名誉教授、前大阪大学総長の宮原秀夫先生に「情報技術の光と影」と題するお話を、また神崎茂パストガバナーに職業奉仕の精神と実行についてお話して頂き、職業奉仕委員長の役割について考える。

2. 出前授業の推進

「専門家の生き方を通して、自分の将来を考えるきっかけをつかませる」ことを目的とするロータリアンによる出前授業を、小・中・高等学校を対象として、一層推進する。また、各クラブの出前授業の実績と計画を調査し、今後の参考資料にする。

3. 職業奉仕のお話し集 (続) の作成と配布

昨年度小冊子で配布した「職業奉仕のお話し集」の続編の原稿を作成・編集し、ガバナー月信に毎月掲載する。

4. 「職業奉仕の小史」の改訂

1999年当委員会が編集した「職業奉仕の小史」の補筆・改訂を行う。

社会奉仕部門

社会奉仕委員会

委員長	江藤 光哉 (大阪RC)
副委員長	由上 時善 (吹田西RC)
副委員長	片山 勉 (大阪東RC)
委員	表 寛治 (池田くれはRC)
委員	西脇 悟 (箕面RC)
委員	高田 知彦 (大阪リバーサイドRC)
委員	川上 大雄 (大阪ユニバーサルシティーRC)
委員	森川嘉夫瑠 (摂津RC)
委員	湯尾 恵子 (大阪うつほRC)
委員	初木 賢司 (くずはRC)

○活動方針

本年度RIのテーマは「夢をかたちに」私たちが一緒になって子供たちの命を救うことです。地区横山ガバナーより「子供たちに光があたる」社会奉仕プロジェクトを実施計画することを重点活動項目に上げられています。地区はロータリーの原点にかえり、各クラブに対して事業が実現できるように連絡を密に活動してまいります。各クラブは子供たちに光があたる活動や子供たちの命を脅かす問題を見つけ取り組み活動していただきます。保健衛生問題では子どもたちが病にかからない予防等、環境面では子供たちに安全な遊び場の支援等、又交通問題ではチャイルドシート・シートベルトの徹底など、クラブにおける奉仕方法を変えるのではなく、強調事項を慎重に方向づけることによって、子どもたちのために貢献できるところに焦点を当てていただきたいと思います。

社会奉仕事業を効果的に進めていくため、充実した委員会運営をするために、会長・委員長・会員のご協力をお願いいたします。

○活動計画

- * 1年間を通じて各クラブでの「子どもたちに光があたる」活動に支援・相談協力をいたします。
- * 定期的にアンケートを取り活動内容をお聞きします。
- * 各クラブの奉仕活動を広報委員会と連絡を取り積極的にマスコミ等へ発信いたします。
- * 期末（活動終了時点）でクラブ委員長会議を開催します。

青少年奉仕部門

新世代合同委員長会議

議 長	井上 暎夫 (千里RC)
委 員	井上 嗣仁 (大阪中央RC)
委 員	辻本 一義 (東大阪RC)
委 員	上野 昌也 (大阪RC)
委 員	植田 豊實 (箕面中央C)
委 員	栢本 義臣 (吹田西C)
委 員	野村 正勝 (箕面中央RC)
委 員	笠原隆之助 (茨木RC)

○活動方針

新世代に関する各委員会が連携を取り乍ら、協力し合う現在の体制をより強いものにし、各委員会の活動成果が一層上がる様にします。

○活動計画

1. 今年度の地区大会に於いて、新世代に関するプログラムが組まれることになり、ホストクラブに協力をします。
2. 前年度に設立されました大阪ネクストロータリークラブの発展のために側面からの応援を致します。

危機管理委員会

上記メンバーに加え、大谷透 (大阪西南RC) 松本龍一 (豊中千里RC) 木村芳樹 (大阪南RC) 岩本洋子 (大阪そねざきRC) と外部からの菅沼清高氏によって構成をし、前年度より発足をしました。

青少年交換プログラムの遂行はこの委員会設立がRIの条件となり出来ました。当地区では地区の新世代プログラムにもこれに準じた対応を致します。

青少年活動委員会

委員長	井上 嗣仁 (大阪中央RC)
副委員長	陶 柳之介 (箕面RC)
副委員長	中井 明則 (大阪そねざきRC)
委員	西上 博幸 (吹田江坂RC)
委員	金馬 隆仁 (吹田江坂RC)
委員	新庄 幸一 (枚方RC)
委員	岸上 宏司 (池田RC)
委員	丸尾 照二 (大阪御堂筋RC)
委員	餅野 法善 (大阪なにわRC)
委員	植田 昌克 (大阪北RC)
委員	上野 晃裕 (大阪梅田東RC)
委員	岡本 啓吾 (大阪中之島RC)
委員	小川 泰彦 (大阪梅田RC)
委員	荒石義一郎 (大阪咲洲RC)
委員	南 樹一 (大阪南西RC)
委員	二上 寛弘 (大阪阿倍野RC)
委員	辻本 容治 (寝屋川RC)

活動方針	<p>少年少女ニコニコキャンプ1回、初級ライラ (RYLA) 2回、上級ライラ 1回、ライラ報告会 (ライラワークショップ) 1回、クラブ青少年正副委員長会議2回を開催します。青少年の参加者には、共同生活の中で友情やチームワークの大切さなどを体験学習してもらい、ロータリアンには、将来を担ってくれる青少年指導者育成の重要性をご理解頂き、同時に参画をお願いします。</p>
------	---

クラブへのお願い	<p>○新世代のための月間 (9月) は、クラブにて新世代 (青少年) のクラブフォーラムを行ってください。</p> <p>○各クラブの登録 (出席) 及び、児童・青少年の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニコニコキャンプ : ロータリアン登録3名・児童参加1名 ・秋のライラ : ロータリアン登録5名・青少年参加1名 ・春のライラ : ロータリアン登録5名・青少年参加1名 <p>の正副委員長の出席と青少年の参加をお願いします。</p> <p>○青少年奉仕委員長会議に正副委員長のご出席をお願いします。</p>
----------	---

事業名	内 容
少年少女 ニコニコキャンプ	開 催 日：2008年8月1日(金)～3日(日) 場 所：箕面市立青少年教学の森 野外活動センター ホストクラブ：大阪梅田
秋のライラ 上級ライラ プレキャンプ	開 催 日：2008年9月 予定 場 所：ガバナー事務局 ホストクラブ：大阪なにわ
秋のライラ 上級ライラ	開 催 日：2008年9月 予定 場 所：関西大学 高槻キャンパス ホストクラブ：大阪なにわ
秋のライラ 初級ライラ	開 催 日：2008年10月11日(土)～13日(月) 場 所：関西大学 高槻キャンパス ホストクラブ：大阪なにわ
春のライラ 初級ライラ	開 催 日：2009年5月3日(土)～5日(月) 場 所：大阪リバーサイドホテル ホストクラブ：大阪南西
第1回正副委員長会議	開 催 日：2008年10月11日(土) 場 所：関西大学 高槻キャンパス ホストクラブ：大阪なにわ
第2回正副委員長会議 とライラ報告	開 催 日：2009年5月 予定 場 所：相愛大学 (予定) ホストクラブ：大阪咲洲
国際ライラへの派遣	チームライラのメンバー (3名以内) を研修として 国際ライラに派遣いたします。

ローターアクト委員会

委員長	辻本 一義 (東大阪RC)
副委員長	吉岡 崇 (池田RC)
副委員長	津本 清次 (大阪淀川RC)
副委員長	中北 清 (大阪南RC)
委員	山村 安徳 (東大阪東RC)
委員	梅澤喜八郎 (東大阪西RC)
委員	山内 康俊 (大阪西RC)
委員	川上 富清 (大阪住吉RC)
委員	池田 佳弘 (大阪梅田RC)
委員	福室 忠正 (吹田RC)
委員	西村 晋 (池田くれはRC)

○活動方針

ローターアクトの活動はRIのテーマのもと、日本全国の各地区のみならず、世界の地区のロータリーが取り組んでおります。従って、ローターアクトの活動は地区全体で取り組むべきテーマです。

ところが、当地区にあっては地区内20数クラブの提唱のもと、20のローターアクトクラブが存在している状況であり、地区全体で取り組んでいるとはとても言えないのが現状であります。

しかし、存在しているローターアクトクラブは、地区全体で約280名の会員を擁し、活発な活動を展開しており、将来の日本を背負って立つ青年男女に有意義な経験を積むことにより大いに成長してもらうという、目的に対しては大きな成果を上げているということが出来ます。

この状況からして、さらにローターアクトの会員を増員し、さらに活発な活動を展開することにより、地区のローターアクトはより大きな成果を上げることが出来るものであると考えられます。

またローターアクトの活動は、地区委員会にあっては、細部にわたるまでの詳細について事細かく干渉するのは好ましくないと考え、ローターアクト達の自主的で独創的な発想のもとに、失敗を恐れることなく果敢に事業にチャレンジしてもらいたいと考えています。そうすることにより、この活動はローターアクト達にとって自らが素敵な経験を積むこととなり人格形成に大きく役立つものとなります。勿論、目的に向かって成功することは大切なことです。しかし、真面目に真剣にチャレンジした結果が失敗であったとしても、この失敗から大きく得るものがあれば、活動の目的は決して失敗したとは言えないと考えます。

○活動計画

ローターアクトの活動は、各クラブが独自に行うものと、地区全体で取り組むものの両方があります。

各クラブが独自に行う活動は、提唱クラブの指導と監督が基本であって、地区委員会としては特に干渉する必要はありません。但し、その活動内容については、毎月1回、北・中・南の各ゾーン毎に開催の会長会（年間36回）で報告されるため、この内容を地区委員会では把握し現状認識をしていきます。

地区全体の活動は、今年度も例年通りに、毎月2回の地区役員会、年2回の地区献血と連絡協議会、海外研修（マレーシアを予定）、ローターアクト全国研修会（長崎の予定）、近畿地区4地区情報交換交流会、年次大会（5月に予定）と目白押しに次々と会議、行事が頻繁に開催されます。

これらの会議、行事に地区委員会は積極的に関わって暖かく見守りながら、必要とするサポートを積極的に行います。

インターアクト委員会

委員長	上野 昌也 (大阪RC)
副委員長	大戸 道彦 (大阪住吉RC)
副委員長	田中 康正 (八尾RC)
委員	田中 啓之 (大東RC)
委員	松岡 一郎 (大阪RC)
委員	谷野 清孝 (大阪阪南RC)
委員	廣内 謙 (大阪南RC)

インターアクト委員会は、国際ロータリーの2008～09年度テーマである“Make Dreams Real”《夢をかたちに》に沿い、社会奉仕および国際理解の拡張を目指す活動を実施します。

○活動方針

1. 各学校と協力してインターアクトクラブ活動を支援する。
2. 各学校や提唱RCの意見を尊重して、個性あふれる活動を行う。
3. インターアクター（生徒）同士の交流をより深められる機会を増やす。
4. 子どもたちの自主性を尊重し、子どもたちが主役になる事業を推進する。

○活動計画

1. 海外研修（副幹事校）
海外のインターアクトクラブやロータリアンとの交流を通して国際理解を深める。
* 提唱RC：大阪ロータリークラブ
* 担当校：相愛中学・高等学校インターアクトクラブ
* 実施日：2008年8月6日（水）～10日（日）
* 訪問国：タイ〈予定〉
2. 年次大会（主幹事校）
各校のインターアクトクラブ、ロータリアンが集い、社会奉仕イベントや活動報告を行う。
* 提唱RC：八尾ロータリークラブ
* 担当校：金光八尾中学・高等学校インターアクトクラブ
* 実施日：2008年9月28日（日）
* 場 所：金光八尾中学・高等学校
3. SCRUM #34発行
1年間の活動をまとめた活動誌「SCRUM」を編集・発行する。
* 提唱RC：大阪住吉ロータリークラブ
* 担当校：浪速中学・高等学校インターアクトクラブ
* 実施日：2009年3月頃
4. 新入生歓迎会（主幹事校）
各校のインターアクトクラブ、ロータリアンが集い、新入生歓迎と学校間の交流を深める。
* 提唱RC：八尾ロータリークラブ
* 担当校：金光八尾中学・高等学校インターアクトクラブ
* 実施日：2009年6月頃〈未定〉
* 場 所：〈未定〉
5. 合同会議等
ガバナー、地区新世代合同委員長会議議長、地区委員、各クラブ正副委員長、顧問先生を招集し、活動計画や概況報告を通して情報交換をする。
* 実施日：随時

以上

青少年交換委員会

委員長	植田 豊實 (箕面中央RC)
副委員長	岡田 俊作 (大阪本町RC)
委員	吉野 正史 (大阪天満橋RC)
委員	小菅 要 (東大阪RC)
委員	角谷 真枝 (茨木西RC)
委員	泉 博朗 (大阪住吉RC)
委員	田邊 和宏 (大阪西南RC)
委員	金本恒二郎 (大阪天王寺RC)
委員	小林 博隆 (大阪梅田RC)

○活動方針

ロータリーの究極目的である世界の平和と繁栄を実現するためには、真の国際人を育成することが是非とも必要であります。

青少年交換プログラムの目的は、高校生を相互に交換して外国で生活させることにより、若いうちに広く世界を経験させ、国際感覚を身につけさせることにあります。

当委員会は、RIの青少年交換プログラムの精神に則って、可能な限り多くの高校生を交換し、所期の目的の達成を目指します。

重点施策

1. 広報活動の強化

過去十年以上青少年交換プログラムに参加した経験のないクラブが半数以上あるのが当地区の現状です。

例会で卓話をさせていただいたり、インターネットのホームページを充実させるなどで積極的にPRを行うことによってこのプログラムのすばらしさと重要性についての理解を深めます。

そして、ロータリーの青少年交換プログラムが世界で一番規模の大きな交換事業であり、地区として取り組むべき重要な事業であるとの認識を新たにしていきたいと思えます。

2. ホストファミリーバンクの設立

このプログラムは交換が原則ですから学生を派遣すれば相手国から必ず学生を受け入れなくてはなりません。この仕組みではどうしてもプログラム参加クラブに様々な負担が偏っています。派遣をするための負担はほとんどありませんが、交換学生を受け入れるためには財政的な負担もさることながら、会員の高齢化と減少が進む中で、ホームステイを引き受けるホストファミリーの確保が大きな負担になっています。

そこで、ホストファミリーバンクを設立して地区のロータリアン全員から広くホストファミリーを募集し登録していただくことによってクラブの枠を超えた来日学生の受け

入れ態勢を構築し、交換で来日する外国の子供をホームステイさせる家庭を確保することで参加クラブの負担を軽減します。

地区内4000人のロータリアンの中には交換する年頃の子弟がいなくても、このプログラムに興味を持ち、ホストファミリーとしてなら参加しようと考えておられるロータリアンがきつとおられるはずです。

ご自分のクラブの会員の子弟の交換のためにではなくても、あるいは、ロータリアンの子弟のためにではなくても、一人のロータリアンとしての国際奉仕や青少年奉仕の機会として、さらにはご自身の国際理解を深める良い機会としてホストファミリーバンクに登録していただきたいと思います。

青少年交換プログラムは最初ロータリアンの子弟を個人的に交換し合うことから始まったのですが1972年にRIの正式プログラムとなって以来、ロータリアンの子弟も参加できる唯一の海外派遣プログラムとなりました。一般人が個人ではできない高校生の長期海外生活経験を全世界のロータリアンがサポートする画期的な世界子育て事業で、短期間の国際交流やお客様扱いのうわべだけの親睦活動とは全く違うものです。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

○活動計画

08～09青少年交換計画

派遣数	長期 6名	短期 3名
受入数	長期 6名	短期 3名
交換相手国	アメリカ、ドイツ、フランス、スイス、カナダ、オーストラリア	

(長期；1年、短期；夏休み)

国際奉仕・WCS委員会

委員長	青山 快玄 (大阪北梅田RC)
副委員長	戸田 和孝 (大阪ちゃやまちRC)
副委員長	小林 澄子 (守口イブニングRC)
委員	浅井 清彦 (大阪大淀RC)
委員	西邨 智雄 (香里園RC)
委員	大藤 辰弘 (吹田西RC)
委員	石田 秀 (大阪西南RC)
委員	古澤 照明 (豊中RC)
委員	伊東 司郎 (守口RC)
委員	谷村 佳昭 (東大阪西RC)

○ 活動方針

本年度地区方針のキーワードとして「子供たちに光があたる」を掲げています。

WCSプロジェクト計画、立案の際には、優先的に取り組んでいただきたく存じます。

またプロジェクト実施には、可能な限りロータリー財団のマッチンググラントや地区補助金を有効利用し、活発な国際奉仕活動にしましょう。

当委員会では、各クラブが主体となって世界社会奉仕活動を実施していくための支援と協力を致します。

具体的には、MG・DDF・DSG等の補助金申請のアドバイスや地区WCSプロジェクトの情報提供と紹介をします。

全てのプロジェクトに海外のパートナークラブは必要不可欠です。

そこで、ツイン、姉妹クラブの提携により、国際親善の輪を大きく広げていただけるように、海外のクラブ紹介をします。

WCS活動を通して、ロータリーが国内外の多くの人に理解していただけるように広報と協力しながら情報の発信をいたします。

○ 活動計画

1. 海外視察の実施

- ・ 地区プロジェクト計画、立案を目的として、海外ロータリークラブ及びその地区と連携して現地の情報を収集する。
訪問国はタイ、インドネシア、フィリピン等
- ・ 地区プロジェクトの検証、前年度のプロジェクト実施先でその効果を追跡調査することにより現地の現状を把握しておく。

2. クラブ国際奉仕・WCS委員長会議 於薬業年金会館

第一回8月2日(土) 現委員長、世界社会奉仕活動の啓発

第二回3月14日(土) 現、次委員長、活動報告とケーススタディ

3. 委員会・原則として毎月第三水曜日 於G事務所

申請書類のチェックと報告

4. 合同委員会、人道的補助金委員会 (申請書類のチェック、情報交換)

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会

委員長	佐藤 俊一 (大阪鶴見RC)
副委員長	福家 宏 (八尾中央RC)
委員	津和 章雅 (大阪城南RC)
委員	栢本 義臣 (吹田西RC)
委員	野村 正勝 (箕面中央RC)
委員	辻川 功一 (大阪中央RC)

横山ガバナーの地区の財団目標として

1. ポリオ撲滅のための寄付増進（会員一人当たり2千円以上）。
2. 地区補助金を有効利用し、クラブ活動を活性化しましょう。
3. 国際親善奨学生、世界平和フェローなどの候補者推薦、受け入れ、派遣については各クラブの積極的なご協力をおねがいします。
4. 研究グループ交換（GSE）はフランス1770地区とおこないます。
各クラブの支援とご協力おねがいします。
5. 一般年次寄付は\$ 130以上を目標にしましょう。
恒久基金への寄付はクラブ一名以上を目標にしましょう。

と具体的な数字を挙げて強調しておられます。

この要請をクラブで直接担当するのはクラブ財団委員長、クラブ財団委員会ではないでしょうか。多くのクラブの場合財団委員長は殆どが寄付金集めの役割のみであり、年会費の中に財団寄付金も一括徴収にすればその仕事すらありません。

幸い、人道的補助金などの申請を検討したり、またCLPが普及すれば財団委員会の役割も以前より比重がましてきます。

マジアベRI財団管理委員長は今年度の目標の中で「私の財団」「あなたの財団」と述べられておられます。これは財団の活動を身近なものとしてくださいとの意味ととれます。私はさらに今年度地区方針として「クラブの財団」を付け加えたいとおもいます。

つまり、財団の事業をクラブでも積極的に取り組んでいただきたいということです。

本年度はポリオの寄付も加わり、寄付金の増進も重要ですが、なぜ必要なかを理解するための寄付集めのプロセスも大切です。さらに国際親善奨学生、GSEプログラムのお世話をすることや帰国した財団学友との絆を深めるようフォローしたり、前述の人道的補助金申請に関わることを通じて財団の多様なプログラムを知ることができます。

このロータリーの多様なプログラムを知るための情報源として、例年にもまして地区ホームページに財団情報を掲載し、会員の知りたい情報をただちに検索できるよう計画しています。

本年度は地区大会において財団委員会の分科会が開催されます。そのときには「クラブの財団」をテーマに、クラブがより一層の財団事業に対する認識を深めていただくようなプログラムを計画しています。

財団情報・増進委員会

委員長	津和 章雅 (大阪城南RC)
副委員長	吉岡 康雄 (大阪西北RC)
副委員長	長谷川龍司 (豊中南RC)
委員	百済 洋一 (東大阪中央RC)
委員	大竹洋一郎 (門真RC)
委員	西田 末彦 (大阪中之島RC)
委員	川田 隆 (八尾RC)

○活動方針

財団の4委員会と連携を密にして、各クラブ財団委員会を通じてロータリー財団に関する情報を提供し、財団活動に対する理解とその浸透を図る。寄付の増進については、各クラブが設定した目標を完遂しあわせて地区目標を達成できるよう、あらゆる機会に啓発して行きたい。

○活動計画

地区財団セミナー 8月30日(土) 9:00～ ヴィアーレ大阪

クラブ財団委員長会議 10月25日(土) 13:00～ エル大阪

地区大会財団部門分科会 12月12日(金) 15:30～ 大阪国際会議場

上記会議において情報提供・寄付増進への働きかけをする。

ロータリー財団月間 11月

財団活動の理解をさらに深めてもらう。要請によりクラブへ講師派遣等の支援をする。

シェアー会議 2009年2月 日時未定 ガバナー事務所

情報・増進委員会

地区行事の準備等に関する打合せを3回開催する。

第1回 8月6日(水) 16:00～ ガバナー事務所

第2回 10月8日(水) 16:00～ ガバナー事務所

第3回 2009年2月4日(水) 16:00～ ガバナー事務所

○地区募金目標

ガバナーの方針に基づき下記とする。

年次寄付 各クラブ目標額とするが、地区目標は130\$/人以上

ベネファクター 各クラブ1名以上

大口寄付 1名

ポリオ撲滅寄付 2,000円/人以上 地区全体では10,000\$以上

今日の財団プログラムを支えている年次寄付と、明日の財団プログラムを安定させる恒久基金があるが、後者(ベネファクター、大口寄付)の充実が重要である。

財団奨学金・学友委員会

委員長	栢本 義臣 (吹田西RC)
副委員長	山下 勝弘 (東大阪RC)
委員	河野真一郎 (大阪北RC)
委員	簡 仁一 (茨木RC)
委員	高田 利美 (大阪フレンドRC)
委員	河内 幸枝 (吹田RC)
委員	道満 隆 (豊中-大阪国際空港RC)
委員	入船 禎三 (大阪東RC)
委員	北埜 登 (東大阪東RC)
委員	岡市 正規 (茨木東RC)

○活動方針

地区財団活動資金 (DDF) を有効に使用させて頂き、特に優秀で質の高いロータリー財団国際親善奨学生を選抜する事は、この委員会の重要な役割と考えると共に各国より優秀な同奨学生を受け入れる。

◇地区財団奨学金・学友委員会の任務

① 奨学生の募集と選考

2009年の奨学生に対しては3月までにクラブに募集し、4～6月にかけて選考します。

選考委員会は地区ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、財団委員長が加わり、一次試験は小論文試験と書類審査、二次試験は面接を実施し合否を決定します。

② 選抜された奨学生に対するオリエンテーション・送り出し

スポンサー地区、顧問ロータリアン、奨学生との一対一の関係を通じて、三回にわたってオリエンテーションを行い、財団学友 (PSC) も参加します。顧問ロータリアンにより、ロータリークラブはじめロータリアンと密接な関係を持つことができます。

③ ロータリー世界平和フェローおよび新設のロータリー平和および紛争解決研究フェローの募集と選考

④ 来日文化研修生および国際親善奨学生の受け入れ

⑤ 帰国後の財団学友の発展と充実を図る活動

国際親善奨学生プログラムの最終の目的は、ロータリーと奨学生の生涯の関係を育むことです。帰国した奨学生を歓迎し、地区の活動に参加していただきます。スポンサークラブは奨学生との結びつきを維持し、奨学生との連絡を絶たないように、現住所を保持するようお願いいたします。学友は地区にとって優れた人材となって、将来はロータリアンとなる日を期待するものです。

⑥ 地区行事、クラブ卓話

地区協議会、地区大会、ロータリー財団セミナー、クラブ財団委員長会議など地区行事、

クラブ卓話を通じ、当委員会の活動を広く会員に理解していただき、ひいては財団活動に協力していただくよう啓蒙につとめます。

○活動計画

月 日	曜日	時 間	行 事	場 所
2008年 7月19日	土	13:00～17:00	合同地区委員会	大阪YMCA
7月19日	土	17:30～20:00	第1回財団奨学金・学友委員会(委員会歓送迎会)	
8月30日	土	9:30～11:30	地区財団セミナー	ヴィアーレ大阪 安土
9月6日	土	13:00～14:00	第2回財団奨学金・学友委員会 @401号室	葉業年金会館
		14:30～17:45	第1回国際親善奨学生オリエンテーション @401号室	
			PSC総会	
		18:00～19:30	奨学生歓送迎会 @402号室	
10月25日	土	13:30～17:00	クラブロータリー財団委員長会議	エルおおさか南館 5F南ホール
12月12日(金)～12月13日(土)			地区大会	大阪国際会議場
12月13日	土	地区大会終了後	第3回財団奨学金・学友委員会 PSC例会 帰国奨学生報告会	
2009年 3月7日	土	11:00～12:00	第4回財団奨学金・学友委員会	*毎年、大阪の文化研修を かねて決めている
		13:30～16:30	第2回国際親善奨学生オリエンテーション	
		17:00～19:00	PSC例会・懇親会	
4月12日	日	午後	2010～2011年度奨学生第一次試験(小論文)	ガバナー事務所
4月25日	土		地区協議会	大阪国際会議場
5月16日	土		国際親善奨学生第一次選考会 世界平和フェローシップ候補の面接	ガバナー事務所
6月7日	日	9:00～17:00	2010～2011年度奨学生第二次試験(面接)	ガバナー事務所
6月27日	土	11:00～12:00	第5回財団奨学金・学友委員会	
		13:30～16:30	第3回国際親善奨学生オリエンテーション	
		17:00～19:00	PSC例会・奨学生歓送迎会	

【重要】ロータリー財団国際親善奨学生候補者は3回のオリエンテーションに必ず参加する義務があります。

☆ 11月のロータリー財団月間には、各クラブから卓話の依頼があります。

☆ ロータリー財団地域セミナー(第1ゾーン～第4ゾーンA)

①2008年 7月11日(金) @京王プラザホテル

②2008年11月19日(水) @ホテルグランパシフィックLE DAIBA

研究グループ交換委員会

委員長	野村 正勝 (箕面中央RC)
副委員長	吉崎 広江 (東大阪東RC)
委員	吉川 邦英 (大阪RC)
委員	小野 佳彦 (大阪難波RC)
委員	西野 博子 (大阪イブニングRC)
委員	石丸 康一 (大東RC)
委員	田中 義久 (大阪西RC)
委員	岸上 億則 (千里メイプルRC)
委員	松崎 浩一 (大阪北RC)

GSE委員会の活動基本

ロータリー財団の使命は皆様ご存知のように地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて世界理解と平和を念頭に置きながらロータリーの綱領と使命を達成しようとするRIの努力を支援することです。研究グループ交換（GSE）というのはこのロータリー財団の教育的プログラムのひとつです。このプログラムでは原則として国を異にする二つのロータリー地区がペアを組んでお互いにロータリアンを団長とする専門職業人のチーム（原則25歳から40歳までの青年4名とロータリアン1名を団長とする）を派遣しあい、相手国の諸制度やホスト家庭の生活様式を勉強したり、体験して相互理解を深めます。ホスト家庭にホームステイして地区内のロータリークラブを訪問し自身の地区についてのプレゼンテーションを行います。こうした活動はロータリーの綱領に沿うものであり永く続けて行くべきものと考えています。

本年度の活動計画など

- ① 前年度の3月15日に財団学友の集いが財団学友の皆さんと2660地区のロータリアン有志により賑やかに開催されましたが、その折に配布された財団学友の集い記念号にこれまでの地区のGSE活動の歴史が詳しく書かれています。それによりますと1968-1969年度に最初の派遣団がアメリカ、カリフォルニア州を訪ねています。その後オーストラリア、カナダ、英国、タスマニア、ドイツ、デンマーク、スウェーデン、ブラジル、ニュージーランド、オランダ、トルコと過去24回にも上る派遣団を送ってきました。
- ② 今年はパリ郊外のRI1770地区と研究グループ交換をすることが決まっています。7月19日の合同地区委員会の開催時には既に派遣団のメンバーが決定されていることでしょう。前ガバナーとガバナーそれに財団委員長、地区GSE委員会が面接および書類選考で決定予定。
- ③ 2009-2010年度のグループ交換研究の相手国が9月末には決まっていなければなりません。ガバナーエレクトとの緊密な連絡と折衝により今年度におおよそが決まる予定。
- ④ GSE派遣団は2009年3月1日に日本を出発し3月30日に帰国予定です。
- ⑤ GSEチームの受け入れは2660地区のすべてのロータリークラブが関与することを前提にIMの組み分けで、1-2組、3-4組、5-6組、7-8組の4グループに分けられます。ペア

リングされた各グループはそれぞれ1週間のプログラムを担当し、可能な限り出来るだけ多くのロータリアンに参画してもらおうと共に国際友好親善の体験をして頂き、ロータリー財団の活動に対する理解を推進します。具体的には各グループで受け入れ実行委員会を組織していただき、ホストファミリーを決め、派遣団員の職業に呼応した職業研修、日本文化の理解を進める一般研修、わが国のロータリー活動の理解のための例会などへの出席およびクラブ会員との友好親善交流などを計画する。計画されたプログラムの重複を避けるために地区受け入れ実行委員会において重複の調整を行い、最終のプログラムを決定する。なお地区公式歓迎会および歓送会を開催する。

- ⑥ フランスからの派遣団は3月30日到着4月26日離日の予定。
- ⑦ 以上のスケジュールから受け入れに関する日程は今のところ次のような予定です。
 - A 11月初旬に地区の実行委員会を開催（その後数回開催予定）
 - B 1月下旬にはプログラムの詳細を決定
作成されたプログラムは英文に翻訳され、派遣先地区に送付すると共にプログラム要綱を作成し全クラブに送付する。
 - C 2月中旬ないし下旬にはホストファミリーのオリエンテーションを開催

GSEアルムニ会

2003年1月25日にGSEのOB,OGの同窓会が出来ました。それがGSEアルムニ会です。アルムニ会の会員はGSEの派遣や受け入れで常にサポートしてくれています。

GSE地区委員会はGSEアルムニ会と相互に交流し地区GSE活動の質の向上を図っていきたいと考えています。

財団法人道的補助金委員会

委員長	辻川 功一 (大阪中央RC)
副委員長	寺本美津子 (大阪そねざきRC)
副委員長	山口 勝之 (高槻東RC)
委員	山本 雅昭 (大阪北RC)
委員	横井 憲二 (八尾 RC)
委員	太田 敏一 (大阪西南RC)
委員	吉川 素三 (大阪東RC)
委員	家村 武志 (吹田西RC)

○活動方針

多くのクラブに補助金の利用方法を周知いただき、補助金の利用率が高まるよう努力する。

- ・財団地域セミナーハンドブックの存在を全会員に認識していただく
- ・補助金利用プロジェクト実施に当たっては必ずこのハンドブックを読んでいただく
- ・ウェブサイトの活用を呼びかける

2008～2009年度、2660地区に配分されたDDFの内、人道的分野で利用できる金額は\$115,000で、内訳は下記の通りである。地区財団セミナー、地区財団委員長会議、地区国際奉仕・WCS委員長会議を通してまた地区のウェブサイトも紹介して、多くのクラブの人道的活動に有効かつ公平に役立つよう広報し支援する。

地区補助金 (DSG) \$50,000

マッチング・グラント (MG) へのDDF \$65,000

合計 \$115,000

人道的分野の補助金は

- (1) 地区補助金
- (2) マッチング・グラント
- (3) ボランティア奉仕活動補助金
- (4) 3H補助金

の4つ

(3H補助金：保健、飢餓追放および人間性尊重のための補助金)

マッチング・グラント、地区補助金ともに申請の締め切りは、2月末日

上記\$115,000を上限とし、それを超える場合は翌年度まわしとする。多数のクラブにお金を利用していただくため一回目の申請を優先し同一年度二回目の申請は、予算が余った場合とする。

☆地区補助金

主として国内の地域社会への奉仕活動＝社会奉仕 に対する補助金。一方ロータリークラブが存在しない国への支援にも利用できる。ただし米国資産管理局制裁下にある国（ミャンマー、北朝鮮）には使えない。クラブは補助金を使用するに相応しいプロジェクトを立案して所定の地区補助金申請書を地区に提出し、地区の審査を経たうえ補助金の授与を受ける。クラブはプロジェクト終了後2ヶ月以内に所定の最終報告書を領収証コピー、プロジェクトの写真とともに提出することが義務付けられている。

既存の、または進行中のプロジェクト、現金を供与するプロジェクトに補助金はない。

今年度は1件あたりの補助金をクラブの資金のうち補助金の授与可能の部分に対して同額を補助し、1クラブあたりの上限を\$2,000とする。（ただしプロジェクトの内容によっては柔軟に対応する）

☆マッチング・グラント（Matching Grant）MG 財源はWF（DDFを付加できる）

援助を必要とする外国の地域社会への奉仕活動＝世界社会奉仕（World Community Service：WCS）を行う時に利用できる補助金。（DDFを使用すると補助金は大きくなる）

MGを利用するには被援助国にロータリークラブが存在していなければならない。

・ 授与することのできるマッチング・グラントは\$5,000～\$25,000（通常はこの範囲で申請）

・ 大口マッチング・グラントは\$25,001～\$150,000だが競争制

クラブは補助金を使用するに相応しいプロジェクトを立案してDDF使用願いとマッチング・グラント申請書のコピーを当委員会に提出。当委員会と地区WCS委員会の審査を経てRI日本事務局財団室に提出してロータリー財団の承認を得た上、補助金の授与を受ける。

地区補助金と同様に既存の、または進行中のプロジェクト、現金を提供するプロジェクトに補助金はない。

今年度は1件あたりのDDFの上限を\$5,000とする。（ただしプロジェクトの内容によっては柔軟に対応する）被援助国側の財団委員長のサインで開始されたMGプロジェクトであっても必ず当地区国際奉仕・WCS委員会と当地区人道的補助金委員会に報告していただく。

☆ボランティア奉仕活動補助金・3H補助金に関しては、当委員会に問い合わせをしていただき、委員会よりRI日本支局と連絡を取る。

〈財団法人道的補助金委員会並びに地区補助金審査会開催予定日〉

第1回 2008年 7月17日

第2回 2008年 9月18日

第3回 2008年11月20日

第4回 2009年 1月15日

第5回 2009年 3月19日

本年度最終の地区補助金審査会は3月とする。

第6回 2009年5月21日（財団法人道的補助金委員会のみ）

米山奨学部門

米山奨学委員会

委員長	笠原隆之助 (茨木RC)
副委員長	北川 哲 (大阪南RC)
副委員長	村橋 義晃 (大阪中之島RC)
委員	石山 登 (大阪なにわRC)
委員	米田 猛 (大阪西RC)
委員	萩原 奨 (大阪難波RC)
委員	武島 秀吉 (大阪御堂筋RC)
委員	磯田 郁子 (大阪東淀RC)
委員	青木 達也 (大阪西南RC)
委員	稲邑 清也 (千里RC)

○活動方針

1. 米山奨学寄付金を一人当たり2万円（特別・普通寄付金の合計）を確保するよう努力する。
2. ガバナー始め地区役員、地区委員全員の協力を得て、奨学生の選考を慎重に行う。
3. 毎年一回地区委員が奨学生受け入れクラブへ出向き米山委員長及びカウンセラーと面談する。レポートを提出し今後の活動の参考にしたいと考えている。

○活動計画

2008—2009年度 地区米山奨学委員会 年間行事予定表

月・日	時間	場所	行事名	参加者
7月5日 土曜日	15:00～ 17:00	ガバナー事務所 会議室	大学との会合	委員全員
7月6日 日曜日	15:00～ 17:00	弥生会館	学友会総会	PG, 委員長、 磯田委員
7月19日 土曜日	13:00～ 17:00	YMCA	合同地区委員会	PG, 委員全員
7月26日 土曜日	10:00～ 12:00	薬業年金会館	クラブ米山委員長 カウンセラー研修会	G, PG 委員長講演 委員全員
10月12日 日曜日	10:00～ 18:00	宝塚劇場	リクレーション 宝塚歌劇	G, GE, GN, PG 委員長、希望者
12月20日頃			次年度奨学生書類選考	G, GE, GN, PG, 委員全員
1月12日 日曜日	9:30～ 15:00	大阪日本語 教育センター	面接試験	G, GE, GN, PG 委員全員 選考委員最終決定
2月1日 日曜日	16:30～ 19:00	ホテル アウイーナ大阪	歓送会	G, GE, GN, PG, 委員全員

地区大会実行委員会

委員長	高橋亜紀央 (大阪中央RC)
副委員長	壇 須寿雄 (大阪中央RC)
副委員長	山田美美江 (大阪そねざきRC)
幹 事	笹木 秀雄 (大阪中央RC)
副幹事	辻 幸雄 (大阪中央RC)
副幹事	谷間 庸子 (大阪そねざきRC)
企画委員長	仲井 徹 (大阪中央RC)
晩餐会委員長	鎌倉 利行 (大阪中央RC)
大会SAA	北尾 郁二 (大阪中央RC)
副SAA	永井 路子 (大阪中央RC)
大会会計	播磨 政明 (大阪中央RC)
副会計	大谷久仁雄 (大阪中央RC)
アドバイザー	古市 實 (大阪北RC)
アドバイザー	飯田 精三 (大阪中央RC)
ホストクラブ会長	上田 祐嗣 (大阪中央RC)

○活動方針

国際ロータリーの地区大会実施マニュアルによりますと、地区大会の目的は、朋友との交流・感銘深い講演・重要な問題の討議とありますが、更に親睦を楽しむ祝賀行事であるとされています。

これを受けて、横山ガバナーは地区大会の方針を次の通り示されました。

1. 参加して楽しいそして感動を与えられる地区大会
2. 一人でも多くの会員・家族・友人の参加頂ける地区大会
3. 映像と音響を駆使し、スピーディーな進行を通じ、所要時間を短縮する
4. ロータリーの4大奉仕関連の、均衡のとれたプログラムの推進
5. 楽しんで頂けるアトラクションプログラムの提供

実行委員会としてはマニュアルを遵守しつつ、参加者が退屈しないよう工夫を凝らした企画・運営を、SIMPLE・SMART・SPEEDをモットーに図って参ります。

○活動計画

実施日：2008年12月12日(金)～13日(土)

場 所：大阪国際会議場並びにリーガロイヤルホテル

[第一日目]

会長・幹事懇談会に加え、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕部門の分科会と新入会員セミナーを、地区の委員会が企画・運営いたします。

同時に、委員会として「家族の集い」を開催いたします。エンターテイメントは、ショパ

ンコンクール入賞者の関本昌平氏（大阪出身）と元タカラジェンヌのコラボレーションです。茶話会形式で、和やかな雰囲気の中で文化的な催しを楽しんで頂きます。

晩餐会は、リーガロイヤルホテルにて開催しますが、RI会長代理を歓迎するのに相応しい、食事とアトラクションを用意いたします。アトラクションは、大阪の「打・打・打・団」による壮大な和太鼓で、場の雰囲気を盛り上げる企画を考えています。

【第二日目】

本大会は、音響と映像を駆使し、参加者が退屈しない運営を図って参ります。あれ！と思われるような企画を通じ、本大会そのものを楽しんで頂ければ幸いです。

アトラクションは、大阪出身のクラシック歌手“佐藤しのぶ”さんですが、佐藤さんのボランティアのトークと素晴らしい歌声を心行くまで楽しんで頂きます。今までに無いコンサートになるべく、知恵を絞って参ります。

又、大会の雰囲気を和らげるためにも、表千家の茶道を始め、ドリンクサービスコーナーを設け、疲れを癒して頂ける空間を用意いたします。

参加して楽しかった！ 感動したね！ の余韻が残る地区大会になるよう、企画・運営に努めて参ります。一人でも多くのロータリアンの参加をお待ち申し上げます。

ロータリーの友

地区委員 益田 照夫（大阪中央RC）

1. 任務と役割

地区委員は地区ガバナーに任命されその代理者として任務を務める。またガバナーの意向を踏まえ、建設的な提言などを行う。

主な任務として、地区内のロータリアンに対して、「ロータリーの友委員会」が発行する雑誌「ロータリーの友」、webのホームページ、その他の刊行物の有効な活用をうながす。

2. 仕事

- ・地区ガバナーと地区内の会員に対し、雑誌「ロータリーの友」、ホームページ「ロータリージャパン」への関心を高め、その読書率の向上を図り、ロータリー活動のテキストとしての有効活用の促進に努める。
- ・「ロータリーの友」に関する情報をガバナーに報告し、その意見を合同会議等で発表する。
- ・地区内の会員には「ロータリーの友」および他の出版物への理解を深めていただくため、広く機会を求めて利用促進活動の奨励に努める。
- ・地区内の各会合に参加して関連委員会との情報を密にして、地区の情報を「ロータリーの友委員会」へ報告する
- ・ガバナー月信を通じて「ロータリーの友」に関する情報を提供し発表する。
- ・レポートの提出と編集担当月には「ロータリーの友」の分担担当ページの編集を行う。
(2660地区は1月号です) この号では地区内の会員の積極的な記事情報参加を求める。

3. オリエンテーションへの参加

年度内3回の合同会議と新旧合同会議2回、計5回の会議が東京で開催される。必ず地区委員の出席が求められる。

その他

ロータリーの友事務所出版物

- ・ロータリーの友（毎月1回）（210円）
- ・ロータリーの友英語版（2008.11／年1回）525円
- ・Rotary Japan（広報誌）（2008.08）1セット（10冊）525円
※国内外のロータリアンの活動を一般の人々に知ってもらう広報誌
- ・ロータリー手帳（2008.05）630円

地区財務委員会

委員長	鯉田 勝巳 (大阪中央RC)
委員	北野 紀之 (池田RC)
委員	高谷 晋介 (大阪西南RC)
会計	西口 宗宏 (大阪中央RC)

I 予算編成方針

1. 会員数の減少に伴い、緊縮予算方針を継続しました。
2. 地区活動全般について、財政面での見直しをお願いし、編成致しました。
特に各委員会の活動費につき、事前に希望予算額をご提出頂き、協議させていただきましたが、緊縮予算編成にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。
3. 単年度黒字化へ向けての目標設定と予算硬直化回避に努めます。
4. 予算編成の仕組みは、数年来の地区会計体系を踏襲しました。
(具体的内容は、別紙予算書をご参照下さい。)
5. 2008年7月1日の地区会員総数を4000名と推定し、会員一人当たりの負担金額を前年同様22,000円としました。
6. 地区大会については、特別会計としての地区大会資金以外に別途、会員一人当たり5,000円の登録料をご負担頂くことにつき、2008-2009年度のための地区協議会でご承認頂きました。
7. 地区協議会会計については、各クラブの負担金は、昨年度の地区大会での決議により、会員数29人以下の19クラブは10万円、会員数30人以上の67クラブは12万円となりました。

II 活動方針

1. 単年度黒字化を目指し、地区財務会計検討会を発足させます。
2. 地区財務会計の健全性、明瞭性の確保に努めます。

III 地区財務委員会および地区会計からのお願い

1. 各委員会での予算の執行(支払)は、所定の「地区資金支出依頼書」に支出依頼額、内訳(件名)、支払先、振込先、資金の具体的用途等を記載し、委員長署名欄に署名押印をした上で、請求書を添付して地区財務委員会に提出して下さい。その際、年間予算から予算残高までの欄もご記入下さい。
2. 委員会で発生する費用は、出来る限り立替払いをされずに地区財務委員会に支出依頼書と共に請求書をご送付下さい。地区会計から支払先に送金致します。
3. 委員会費用のお支払いは、毎月15日締め末日支払と末日締めの翌月15日支払の月2回とします。支出依頼書を早めにご提出下さいますようお願いいたします。
4. 地区財務委員会にご提出頂いた支出依頼書のコピーを委員会にお残しいたいただき、予算管理をお願いいたします。
5. 年度途中で当初予算を超過する支出の発生が予想される場合は、事前に地区代表幹事または地区財務委員長にご相談下さい。

地区資金・特別会計・地区基金会計予算

地区運営資金

収入の部

(単位：円)

科目	金額
1. 地区資金	38,000,000
2. RI助成金	2,000,000
3. 雑収入	0
収入合計	40,000,000

支出の部

(単位：円)

科目	金額
A. 負担金	
1. ガバナー会	800,000
2. ローターリー文庫	1,200,000
3. 平和奨学生支援協力金	60,000
小計	2,060,000
B. 会議費	
1. 地区チームLTS	70,000
2. 会長エレクトTS	800,000
3. 地区合同委員会	1,000,000
4. 財団セミナー	500,000
5. DGPGE会議	500,000
6. G補佐・地区幹事会	50,000
7. GE国際協議会	730,000
8. 予備費	100,000
小計	3,750,000
C. ガバナー事務所費	29,504,000
D. ガバナー月信費	5,500,000
E. ガバナー補佐経費	300,000
F. 直前DG記念品	100,000
G. 総予備費	160,000
支出合計	41,374,000
収支差額	-1,374,000
前年度繰越金	10,771,588
次年度繰越金	9,397,588

ガバナー事務所経費

(単位：円)

科目	金額
1. 家賃・光熱費	4,500,000
2. 給料・手当	17,325,000
3. 厚生費	2,079,000
4. コンピューター関係費用	400,000
5. DGGE交通会合費	600,000
6. 印刷費	1,400,000
7. 交通通信費	1,500,000
8. 文庫費	100,000
9. 事務用品費	600,000
10. 什器備品費	200,000
11. 雑費	500,000
12. 予備費	300,000
合計	29,504,000

地区活動資金

収入の部

(単位：円)

科目	金額
1. 地区資金	30,000,000
2. 地区広報基金振り戻し	
収入合計	30,000,000

支出の部

(単位：円)

科目	金額
A. 地区委員会活動費	
1. DG指名(委)	50,000
2. 意義ある業績賞(委)	30,000
3. クラブ奉仕部門	
①クラブ奉仕・拡大増強(委)	600,000
②広報(委)	500,000
4. 職業奉仕部門	
職業奉仕(委)	250,000
5. 社会奉仕部門	
社会奉仕(委)	500,000
6. 青少年奉仕部門	
①新世代合同・危機管理(委)	40,000
②青少年活動(委)	7,500,000
③ローターアクト(委)	5,160,000
④青少年交換(委)	5,800,000
⑤インターアクト(委)	2,230,000
7. 国際奉仕部門	
国際奉仕・WCS(委)	400,000
8. ローターリー財団部門	
①ローターリー財団(委)	300,000
②財団情報・増進(委)	50,000
③財団奨学金・学友(委)	1,000,000
④研究グループ交換(委)	2,350,000
⑤財団人道的補助金(委)	100,000
9. 米山奨学部門	
米山奨学(委)	400,000
10. RI規定審議会派遣積立金	400,000
11. RIJYEC維持協力金	400,000
12. 予備費	1,200,000
小計	29,260,000
B. RI会長DG強調事業費	
C. IM広報活動補助金	2,400,000
D. 研修委員会	200,000
支出合計	31,860,000
収支差額	-1,860,000
前年度繰越金	19,193,410
次年度繰越金	17,333,410

特別会計

1. 地区大会資金

(単位：円)

科目	金額
前年度繰越金	6,103,702
地区資金	20,000,000
地区大会会計へ	20,000,000
地区大会会計から戻入	
次年度繰越金	6,103,702

2. 米山奨学生生活費

【収入の部】

(単位：円)

科目	金額
(財)米山記念奨学会より	2,700,000
登録料および補助金	0
収入合計	2,700,000

【支出の部】

(単位：円)

科目	金額
米山活動費	
カウンセラー研修会ほか	2,700,000
その他の経費	0
支出合計	2,700,000
収支差額	0
前年度繰越金	0
次年度繰越金	0

3. 世界社会奉仕基金

【収入の部】

(単位：円)

科目	金額
クラブ拠出金	
受取利息	
収入合計	

【支出の部】

(単位：円)

科目	金額
プロジェクト資金	
送金手数料	
支出合計	
収支差額	
前年度繰越金	1,081,382
次年度繰越金	1,081,382

4. RI規定審議会派遣積立金

(単位：円)

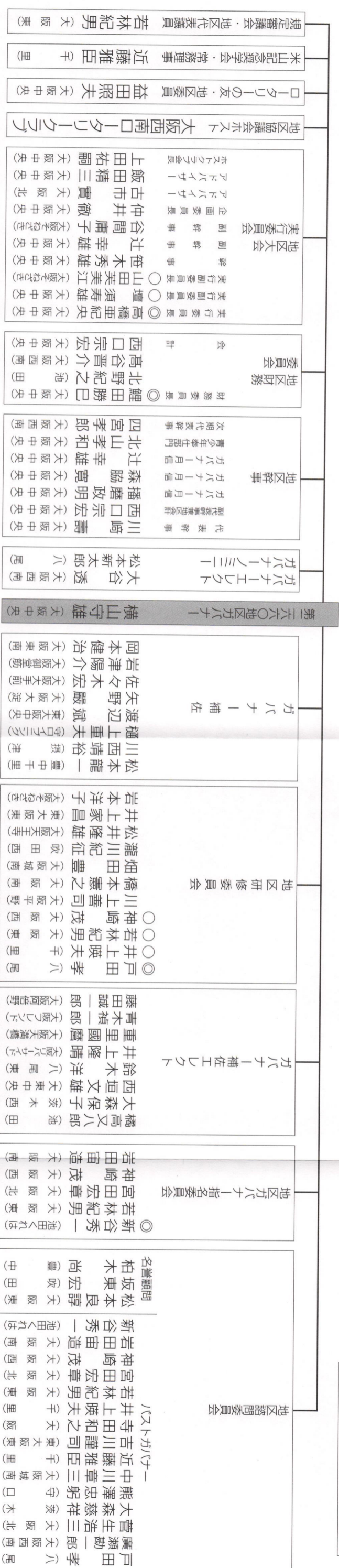
科目	金額
前年度繰越金	801,400
地区活動資金繰り入れ	400,000
実際派遣事業	
次年度繰越金	1,201,400

地区基金

(単位：円)

科目	金額
前年度繰越金	20,000,000
受取利息	
本会計へ取り崩し	
利息を本会計へ繰り入れ	
次年度繰越金	20,000,000

国際ロータリー
 会長 Dong-Kurn Lee
 理事 小沢一彦
 理事 Hei-hen, Jackson San-lien



米山奨学部門

- 顧問 近藤雅臣 (千里)
- 米山奨学委員会
 ◎ 笠原隆之助 (茨城)
 ◎ 北川義晃 (大阪中之島)
 ◎ 村磯石達清 (大阪中之島)
 ◎ 橋田山木邑島 (大阪中之島)
 ◎ 石青稻武米萩 (大阪中之島)

ロータリー財団部門

- 顧問 宮田宏章 (大阪北)
- ロータリー財団委員会
 ◎ 藤家一宏 (大阪鶴見)
 ◎ 佐藤俊 (大阪鶴見)
 ◎ 福家章雅 (大阪鶴見)
 ◎ 津野和章 (大阪鶴見)
 ◎ 野村本義一 (大阪鶴見)
- 財団情報・増進委員会
 ◎ 津和章 (大阪城)
 ◎ 吉岡康雄 (大阪西)
 ◎ 長谷川龍司 (大阪中)
- 財団法人道的補助金委員会
 ◎ 野村崎川丸中上崎 (大阪北)
 ◎ 吉小野丸中上崎 (大阪北)
 ◎ 吉小野丸中上崎 (大阪北)

国際奉仕部門

- 顧問 若林紀男 (大阪東)
- 国際奉仕・WOS委員会
 ◎ 青山林快 (大阪北梅田)
 ◎ 小戸澄和 (大阪中之島)
 ◎ 西田智清 (大阪中之島)
 ◎ 浅井田照辰 (大阪中之島)
 ◎ 石古大伊谷 (大阪中之島)

青少年奉仕部門

- 顧問 井上映夫 (千里)
- 新世代合同委員長会議
 ◎ 井上松井 (大阪中之島)
 ◎ 上谷龍一 (大阪中之島)
 ◎ 映夫 (大阪中之島)
 ◎ 夫透 (大阪中之島)
 ◎ 上谷龍一 (大阪中之島)
- 青少年活動委員会
 ◎ 井上松井 (大阪中之島)
 ◎ 上谷龍一 (大阪中之島)
 ◎ 映夫 (大阪中之島)
 ◎ 夫透 (大阪中之島)

社会奉仕部門

- 顧問 岩田宙造 (大阪南)
- 社会奉仕委員会
 ◎ 藤光時 (大阪東)
 ◎ 江由片 (大阪東)
 ◎ 山片 (大阪東)
 ◎ 表山 (大阪東)
 ◎ 高川 (大阪東)
 ◎ 湯川 (大阪東)
 ◎ 初森 (大阪東)

職業奉仕部門

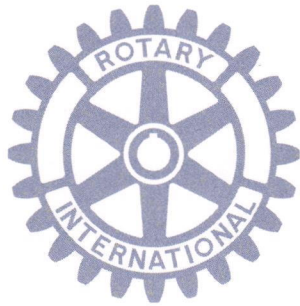
- 顧問 神崎 茂 (大阪西)
- 職業奉仕委員会
 ◎ 畑田木嶋 (大阪東)
 ◎ 鈴中 (大阪東)
 ◎ 上岩 (大阪東)
 ◎ 長若 (大阪東)
 ◎ 松尾 (大阪東)

クラフ奉仕部門

- 顧問 新谷秀一 (池田<れは>)
- クラフ奉仕・拡大増強委員会
 ◎ 松川賀本 (大阪南)
 ◎ 山賀本 (大阪南)
 ◎ 川賀本 (大阪南)
 ◎ 常賀本 (大阪南)
 ◎ 北賀本 (大阪南)
 ◎ 安賀本 (大阪南)
 ◎ 小賀本 (大阪南)
- 広報委員会
 ◎ 木村芳樹 (大阪南)
 ◎ 村島正幸 (大阪南)
 ◎ 岡上征雄 (大阪南)
 ◎ 川山武 (大阪南)

- 財団法人道的補助金委員会
 ◎ 辻川功一 (大阪中央)
 ◎ 寺本美津子 (大阪中之島)
 ◎ 山本雅敏 (大阪中之島)
 ◎ 山口本雅敏 (大阪中之島)
 ◎ 太田本雅敏 (大阪中之島)
 ◎ 吉本雅敏 (大阪中之島)
 ◎ 山本雅敏 (大阪中之島)

◎：委員長 ○：副委員長



**ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660**